

長岡造形大学

大学院造形研究科

修士課程・博士（後期）課程入学試験

学生募集要項

平成 29 年度

平成29年度
長岡造形大学
大学院造形研究科
修士課程・博士（後期）課程
入学試験
学生募集要項

目次

大学院設置の趣旨	3
求める人物像.....	3
研究領域の特色	3 - 4
修士課程教員名一覧	4
博士（後期）課程教員名一覧.....	4
修士課程入学試験	
募集人員	6
出願資格.....	6
出願期間および出願方法	6
出願書類等.....	7 - 8
作品集又は論文要旨等の提出方法	8
志願票等作成上の注意	9
選考方法・試験科目等	9
受験についての諸注意	9
博士（後期）課程入学試験	
募集人員	11
出願資格.....	11
出願期間および出願方法	11
出願書類等.....	12 - 13
志願票等作成上の注意	13
選考方法・試験科目等	13
受験についての諸注意	13
共通事項	
合格発表	15
入学手続	15
初年度納付金	15
試験会場案内	16
入学試験に関する問い合わせ	17

本学所定用紙

- ・修士課程 入学願書（入学志願票・受験票・写真票）
- ・博士（後期）課程 入学願書（入学志願票・受験票・写真票）
- ・履歴書
- ・研究計画書
- ・修士課程 研究内容相談受付書
- ・博士（後期）課程 研究内容相談受付書
- ・修士課程 論文要旨・作品目録
- ・修士課程 論文要旨・作品添付用紙
- ・修士課程 出願用封筒ラベル
- ・博士（後期）課程 出願用封筒ラベル

個人情報の取扱いについて

ご提出いただいた書類等の個人情報は、受験票や合否通知、入学手続書類等の送付、書類記載事項についての確認、その他本人および保護者への連絡、情報の伝達に用います。

またご提出いただいた情報は、本学とその業務の委託を受けた業者において責任を負うこととし、業務委託する業者とは「委託契約」を締結し、情報の管理、利用保護に努めます。

大学院設置の趣旨

近年における科学技術をはじめとする諸分野の著しい進歩発展と、それに伴う産業構造の転換、生活者のニーズや価値観の多様化といった状況のもとで、学術研究の領域は細分化、専門化することを余儀なくされます。一方、従来の学問体系では対応しきれない境界領域や、学際領域をもカバーすることが要請されており、学術研究の高度化に対応するとともに、様々な分野・領域に貢献できる有為な人材を養成することが、大学をはじめとする高等教育機関に求められています。

このような状況の再認識と再評価の観点から、社会環境や経済状況等の変化に的確に対応する上で、いま最も求められているものの一つが、いわゆるフローから真のストックの創造への移行、すなわち人間性への深い理解に根ざした、真に豊かな生活形態をどのように創出していくのかということであると考えます。真の豊かさの実現に向けて、全体的、総合的、横断的な視点からの探求を視座とするデザイン（造形）への期待はますます高まっており、その対象となる範囲も急速に拡大してきています。

デザインは本来、もの・生活・都市・環境といった様々なレベルにおける造形物や場の創出に関して多様な専門分野を横断的に見通し、総合的な視点から全体の調和を図るなかに、造形物や場のあり方を究明することをその研究領域としており、その対象はものに始まり、生活レベルを基礎として、さらには環境レベルの広がりをもつ総合的な創作活動を包含しています。社会構造の変化、人々の価値観の多様化に伴い、デザインが果たす社会的役割と責務は飛躍的に増大しつつあり、デザインの対象となる範囲も急速に拡大するとともに、従来にも増して、その高度化と精緻化への手だてが必要となっています。

本大学院においては、これらの社会的要請に応えるべく、デザインに関する高度な知識と幅広い応用力・技法を備え、かつ総合的な視野を持った専門的職業人の養成と、将来研究者として自立するための基礎づくりとして、修士課程を位置づけています。

また、各研究領域におけるデザイン理論の深化、実践的技法の高度化を実現するとともに、新たな時代の社会的要請に即応しうる、デザインの各領域を束ねる総合的なデザイン学の確立を図るため、博士（後期）課程を設けています。

求める人物像

修士課程

本学修士課程では、次のような人物を求めています。

1. 「社会人基礎力」「構想力」「造形力」の素養を幅広く身に付け、優れた人格を有する者
2. 高度な専門能力の修得に立脚し、社会における実践的な研究への意欲がある者
3. 新たな創造力により問題解決に当たる意欲がある者

博士（後期）課程

本学博士（後期）課程では、次のような人物を求めています。

デザインの領域を総合的に理解し、社会とのつながりを視野に入れ、自立した研究者となるための能力と研究意欲を備える者

研究領域の特色

本大学院においては、単一の研究科及び専攻として設置した造形研究科造形専攻に、修士課程には環境文化財学、建築学、空間計画学、視覚デザイン、美術・工芸、プロダクトデザインの6研究領域を、博士（後期）課程には造形理論の1研究領域を設けています。

これらの研究領域にあっては、それぞれの専門分野としての学問的高度化を追究するとともに、総合的、横断的な観点から、デザイン領域全体を見通す力を身につけることを目的としています。すなわち、それぞれの研究領域におけるデザイン理論の深化と、総合的なデザイン技法の高度化を目指すとともに、デザインの各領域の融合を図りながら、広い視野でデザイン領域全体をコーディネートする能力を修得することを目指すものです。

各研究領域における教育研究の概要は次のとおりです。

修士課程

- 環境文化財学…建造物、遺跡、集落町並みなどの環境文化財に関して、その保存修復・修景の実践的方法論とその応用について探求します。
- 建築学…建築計画の方法論を研究し、建築の持つ社会性や芸術性を踏まえて、建築空間の設計とその実践的なプロセスを探求します。
- 空間計画学…広域圏から地区にいたる様々な空間スケールを対象として、都市計画、地域計画、防災計画、ランドスケープ計画に関する論理的、実践的方法論について探求します。
- 視覚デザイン…多様な情報メディアにおける視覚伝達の技術を学ぶとともに、人間社会における視覚コミュニケーションの本質を探求します。
- 美術・工芸…金属・繊維・ガラスなどを主材料とする工芸領域及び、絵画・彫刻を中心とする美術領域の素材、造形手法、創作表現の可能性について実践的に探求します。
- プロダクトデザイン…人間の生活に関わる道具としてのプロダクト製品の企画開発から使用、廃棄までの全プロセスを踏まえて、デザインの側面からの論理的、実践的方法論について探求します。

博士（後期）課程

- 造形理論…環境文化財学、建築学、空間計画学、視覚デザイン、美術・工芸、プロダクトデザインなどそれぞれの専門分野を切り口として、人間を中心軸においた造形理論を構築することを目指します。

修士課程教員名一覧

研究領域名	教 員 名
環境文化財学	<u>平山 育男</u> 、津村 泰範
建築学	<u>江尻 憲泰</u> 、 <u>川口 とし子</u> 、 <u>後藤 哲男</u> 、 <u>森 望</u> 、 <u>山下 秀之</u> 、白鳥 洋子
空間計画学	<u>菅原 浩</u> 、 <u>渡辺 誠介</u> 、 <u>澤田 雅浩</u>
視覚デザイン	<u>阿部 充夫</u> 、 <u>天野 誠</u> 、 <u>長瀬 公彦</u> 、 <u>長谷川 博紀</u> 、 <u>ヨールグ ビューラ</u> 、 <u>松本 明彦</u> 、 <u>山本 敦</u> 、 <u>池田 光宏</u> 、 <u>吉川 賢一郎</u> 、 <u>徳久 達彦</u> 、 <u>真壁 友</u> 、 <u>山田 博行</u> 、 <u>金 冨洙</u> 、御法川 哲郎
美術・工芸	<u>石原 宏</u> 、 <u>遠藤 良太郎</u> 、 <u>菅野 靖</u> 、 <u>菊池 加代子</u> 、 <u>鈴木 均治</u> 、 <u>馬場 省吾</u> 、 <u>岡谷 敦魚</u> 、 <u>小林 花子</u> 、 <u>手銭 吾郎</u> 、 <u>中村 和宏</u> 、 <u>長谷川 克義</u>
プロダクトデザイン	<u>和田 裕</u> 、 <u>齋藤 和彦</u> 、 <u>境野 広志</u> 、 <u>土田 知也</u> 、 <u>増田 譲</u> 、 <u>金澤 孝和</u> 、川越 ゆかり

※研究指導教員（指導教員として研究指導及び授業科目を担当する者）はアンダーライン

※研究指導補助教員（研究指導の補助及び授業科目を担当する者）はアンダーラインなし

博士（後期）課程教員名一覧

研究領域名	指導研究領域	教 員 名
造形理論	環境文化財学	<u>遠藤 良太郎</u> 、 <u>後藤 哲男</u> 、 <u>馬場 省吾</u> 、 <u>平山 育男</u> 、 <u>渡辺 誠介</u> 、 <u>澤田 雅浩</u> 、 <u>天野 誠</u> 、 <u>鈴木 均治</u> 、 <u>長瀬 公彦</u> 、 <u>長谷川 博紀</u> 、 <u>松本 明彦</u> 、 <u>長谷川 克義</u> 、 <u>真壁 友</u>
	建築学	
	空間計画学	
	視覚デザイン	
	美術・工芸	
	プロダクトデザイン	

※研究指導教員（指導教員として研究指導及び授業科目を担当する者）はアンダーライン

※研究指導補助教員（研究指導の補助及び授業科目を担当する者）はアンダーラインなし

大学院造形研究科 修士課程入学試験

修士課程 入学試験

平成29年度 長岡造形大学 大学院造形研究科修士課程入学試験

募集人員

研究科	専攻	研究領域	入学定員	修業年限
造形研究科	造形専攻	環境文化財学 建築学 空間計画学 視覚デザイン 美術・工芸 プロダクトデザイン	15 人	2 年

出願資格

次のいずれかに該当する者であること。

- (1) 大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成29年3月に授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
※受験のための入国に関する証明書類等は、本学では一切発行いたしません。
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で平成29年3月31日において22歳に達している者

※出願資格(5)による志願者は出願受付開始日の3ヶ月前に出願資格認定審査が必要です。

※外国籍を有する者は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（ただし、前期入学試験志願者は平成27年6月、11月もしくは平成28年6月に実施された試験、後期入学試験志願者は平成27年11月、平成28年6月もしくは11月に実施された試験）において、日本語を含む2科目以上を受験していることが必要です。（出題言語は日本語とします）

出願期間および出願方法

(1) 出願期間

前期入学試験 平成28年10月 3日（月）～ 10月7日（金） ※出願期間内必着

後期入学試験 平成29年 1月23日（月）～ 2月1日（水） ※出願期間内必着

(2) 出願方法

① 本入学試験に出願しようとする者は、必ず出願以前に指導を希望する教員本人と連絡を取り、事前に研究内容等、出願について十分に相談し、事前に相談した旨確認を得てください。連絡の取り方等については、入試課にお問い合わせください（P.17「**入学試験に関する問い合わせ先**」を参照）。

② 出願書類を一括取り揃え、角2サイズの封筒（封筒ラベルを本学ホームページからダウンロード、印刷して貼り付ける）に入れ、必ず書留速達で郵送してください。ただし、やむを得ない場合は、本学入試課に持参しても構いません。

（窓口受付時間…8:30 から 17:00 まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません）

出願書類等

出願書類のうち、本学所定用紙はすべて本学ホームページからダウンロード、印刷して用意してください。
ホームページからのダウンロードができない場合は入試課に相談してください。
一度提出した書類及び検定料は、理由の如何を問わず返却しません。

① 様式 1 志願票 + 受験票 + 写真票（本学所定用紙）

正面上半身脱帽の写真（タテ 4cm × ヨコ 3cm 裏面に氏名を記入）で、出願以前 3 ヶ月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼付してください。

② 様式 2 履歴書（本学所定用紙）

③ 出願資格を証明する書類及び成績証明書

出願資格に応じ、次に掲げる書類を提出してください。

【大学を卒業した者及び平成 29 年 3 月卒業見込みの者】

- 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書
- 出身大学長作成による成績証明書

【短期大学・高等専門学校を卒業した者又はこれに準ずる者で、独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構（旧独立行政法人 大学評価・学位授与機構 以下“学位授与機構”）により、学士の学位を授与された者及び平成 29 年 3 月に授与される見込みの者】

- 学位を授与された者については学位記の写し、授与見込みの者については学位授与機構による授与申請を受理した証明書
- 基礎資格となる当該短期大学・高等専門学校の成績証明書及び基礎資格に該当した後に修得した単位に係わる成績証明書

【外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 29 年 3 月修了見込みの者】

- 最終卒業学校の卒業証明書又は卒業見込証明書（日本語又は英語による）
- 最終卒業学校長作成による成績証明書（日本語又は英語による）
- 履歴書の学歴の欄において、外国において修了又は修了見込みの学校教育課程が 16 年にわたることを明記すること（本学所定用紙）

④ 様式 3 研究計画書（日本語による）

志望指導教員名と研究課題及びそれを選んだ理由、その課題をどのように追究していきたいと考えるかについて、和文 800 字以上 1,200 字以内でまとめ、本学所定用紙を表紙として綴じてください。

⑤ 様式 4 研究内容相談受付書

指導を希望する教員に事前に研究内容等相談し、その教員から署名・捺印を受けてください。

⑥ 作品集又は論文要旨

提出方法については P.8「作品集又は論文要旨の提出方法」を参照してください。

⑦ 入学検定料「振込の明細書」の写し（コピー）

- 入学検定料は 30,000 円となります。※振込手数料は各自ご負担願います
- 最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関から本学指定口座に納入してください。（日本国内からの送金のみとします）

[指定口座]

北越銀行 江陽支店 普通 2029113 （名義：公立大学法人長岡造形大学）

- 振込人名義の前に振込コード“2100”を入れてください。
- 振込人名義は受験生本人名に限ります。
（受験生本人以外の名義とした場合、納入を確認できないことがあります）
- 入学検定料を納入後、「振込の明細書（振り込んだことがわかる書類等）」の写し（コピー）を出願書類に同封してください。

⑧ 362 円分の切手（受験票返送用。速達で返送）

- 志願する者が外国人の場合は、以下の書類を併せて提出してください。

⑨ 住民票またはパスポートの写し（在留資格および在留期間が明記されているもの）

⑩ 日本留学試験の受験票の写し

入学後の授業は日本語で行われますので、授業を受けるのに支障のない日本語能力が必要です。

作品集又は論文要旨等の提出方法

① 提出物及び点数等

- 出願者は、作品集又は論文要旨等を必ず提出してください。
- 作品集を提出する場合は、A2 版以下のファイル 1 冊にまとめて提出してください。また論文要旨等を提出する場合は、論文要旨（日本語、様式は自由）または学部での卒業研究等の研究計画書（日本語、様式は自由）を提出してください。
- 提出するすべての論文要旨等、作品集に掲載する作品について、論文要旨・作品添付用紙（本学所定用紙）を 1 点につき 1 部作成し貼付するとともに、論文要旨・作品目録（本学所定用紙）を 1 部提出してください。

② 提出期間及び提出方法

前期入学試験 平成 28 年 10 月 3 日（月）～ 10 月 7 日（金）※提出期間内必着

後期入学試験 平成 29 年 1 月 23 日（月）～ 2 月 1 日（水）※提出期間内必着

作品集又は論文要旨等は本学入試課宛に送付するか、直接持参してください。送付する場合は、郵便書留、ゆうパック、宅配便等を利用して構いませんが、発送後は発送記録（発送伝票の控え等）を大切に保管しておいてください。

入試課窓口受付時間：8:30 ～ 17:00（土曜日、日曜日、祝日の受付は行いません）

③ その他

- 作品集又は論文要旨等の返還は、合格発表後、本学入試課にて行いますので、志願者は各自、入試課窓口で受領してください。なお、遠方の志願者で、本学での受領が困難な場合は入試課に相談してください。
- 提出又は返還途中での破損等のトラブルについて、本学では一切責任を負いません。

志願票等作成上の注意

1. 志望研究領域の欄は、希望する研究領域を選択してください。
2. 志望教員との面談時期の欄は、最終の面談をした時期を記入してください。
3. 現住所の欄は、確実に連絡できる場所を記入してください。
4. 写真貼付の欄には、出願以前 3 ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽の写真（タテ 4cm × ヨコ 3cm）を必ず貼付してください。また、写真の裏面には、氏名を記入してください。

選考方法・試験科目等

選考方法		試験及び提出された作品集・論文要旨等、研究計画書並びに成績証明書を総合して可否を判定します。			
試験科目		専門分野の小論文試験、面接			
試験日	前期	平成 28 年 11 月 12 日（土）	試験時間	専門分野の小論文試験	12:00 ～ 14:30
	後期	平成 29 年 2 月 18 日（土）			
集合時刻		11:45		面接	15:00 ～

- ・持参用具：HB または B の鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、万年筆またはボールペン、修正液
- ・小論文の答案作成に用いる言語は日本語とします。
- ・辞書（電子辞書を含む）の持ち込み可。
- ・出願時に作品集を提出した場合は、作品の現物 1 点を持参してください。

受験についての諸注意

- ① 試験室及び面接の順番は当日指示します。
- ② 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を紛失したり、試験当日忘れた場合は、必ず係員に申し出てください。
- ③ 受験票が試験日の 3 日前までに届かない場合は、本学入試課に問い合わせてください。
- ④ 試験室への入室は、集合時刻までに行き、入室後受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机の受験番号のわきに置いてください。
- ⑤ 試験開始後 20 分以上遅刻した場合、受験を認めません。ただし、試験当日、交通機関の事故や災害等やむを得ない事情により試験開始時刻に到着できない場合は、直ちに本学入試課に電話連絡を行い、指示を受けてください。（電話番号は P.17 「**入学試験に関する問い合わせ**」を参照）
- ⑥ 入学願書に記載した住所に変更が生じた場合は、直ちに本学入試課に申し出てください。
- ⑦ 身体等に障がいのある志願者で、受験および修学上特別の配慮を必要とする者は、出願前に十分時間に余裕を持って本学入試課に相談してください。
- ⑧ 入学試験のために宿泊が必要な場合は、志願者自身で手配してください。
- ⑨ 入学試験に関する問い合わせ先は P.17 を参照してください。
- ⑩ 長岡造形大学造形学部出身の志願者へ 当日学内へ作品を取りにいくことがないよう事前に準備をしてください。

大学院造形研究科
博士(後期)課程入学試験

博士（後期）課程 入学試験

平成29年度 長岡造形大学 大学院造形研究科博士（後期）課程入学試験

募集人員

研究科	専攻	研究領域	入学定員	修業年限
造形研究科	造形専攻	造形理論	3人	3年

出願資格

次のいずれかに該当する者であること。

- (1) 大学院の修士課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により修士の学位を授与された者及び平成29年3月に授与される見込みの者
- (3) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月に授与される見込みの者
※受験のための入国に関する証明書類等は本学では一切発行いたしません。
- (4) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月に学位を授与される見込みの者
- (5) 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた場合
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で平成29年3月31日において24歳に達している者

※出願資格（7）による志願者は出願受付開始日の3ヶ月前に出願資格認定審査が必要です。

※外国籍を有する者は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（ただし、前期入学試験志願者は平成27年6月、11月もしくは平成28年6月に実施された試験、後期入学試験志願者は平成27年11月、平成28年6月もしくは11月に実施された試験）において、日本語を含む2科目以上を受験していることが必要です。（出題言語は日本語とします）

出願期間および出願方法

(1) 出願期間

前期入学試験 平成28年10月 3日（月）～ 10月7日（金） ※出願期間内必着

後期入学試験 平成29年 1月23日（月）～ 2月1日（水） ※出願期間内必着

(2) 出願方法

① 本入学試験に出願しようとする者は、必ず出願以前に指導を希望する教員本人と連絡を取り、事前に研究内容等、出願について十分に相談し、事前に相談した旨確認を得てください。連絡の取り方等については、入試課にお問い合わせください（P.17「入学試験に関する問い合わせ先」を参照）。

② 出願書類を一括取り揃え、角2サイズの封筒（封筒ラベルを本学ホームページからダウンロード印刷して貼り付ける）に入れ、必ず書留速達で郵送してください。ただし、やむを得ない場合は、本学入試課に持参しても構いません。

（窓口受付時間…8:30 から 17:00 まで。土曜日・日曜日・祝日の受付は行いません）

出願書類等

出願書類のうち、本学所定用紙はすべて本学ホームページからダウンロード、印刷して用意してください。
ホームページからのダウンロードができない場合は入試課に相談してください。
一度提出した書類及び検定料は、理由の如何を問わず返却しません。

① 様式 1 志願票 + 受験票 + 写真票（本学所定用紙）

正面上半身脱帽の写真（タテ4cm × ヨコ3cm 裏面に氏名を記入）で、出願以前3ヵ月以内に撮影したものを写真票の所定の欄に貼付してください。

② 様式 2 履歴書（本学所定用紙）

③ 出願資格を証明する書類及び成績証明書

出願資格に応じ、次に掲げる書類を提出してください。

【大学院の修士課程を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者】

- ・ 出身大学院の修了証明書または修了見込証明書
- ・ 出身大学長または研究科長による成績証明書

【学位授与機構により修士の学位を授与された者及び平成29年3月に授与される見込みの者】

- ・ 学位を授与された者については学位記の写し、授与見込みの者については学位授与機構による授与申請を受理した証明書
- ・ 当該大学校の研究科等の発行する、修得した学位に係わる成績証明書

【外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月に授与される見込みの者】

- ・ 出身大学院の修了証明書または修了見込証明書（日本語又は英語による）
- ・ 出身大学長または研究科長による成績証明書（日本語又は英語による）

④ 様式 3 研究計画書（日本語による）

志望指導教員名と研究課題及びそれを選んだ理由、その課題をどのように追究していきたいと考えるかについて、和文800字以上1,200字以内でまとめ、本学所定用紙を表紙として綴じてください。

⑤ 様式 4 研究内容相談受付書

指導を希望する教員に事前に研究内容等相談し、その教員から署名・捺印を受けてください。

⑥ 論文

修士論文または学会誌発表の審査論文（日本語または英語による）とし、必ず論文梗概（日本語による）を添付すること。その他必要な場合は参考となる資料の提出も可能です。

また、修了見込みの者は修士論文の研究題目とその研究の進捗状況について提出してください（修士の研究計画書など）。

⑦ 入学検定料「振込の明細書」の写し（コピー）

- 入学検定料は 30,000 円となります。※振込手数料は各自ご負担願います
- 最寄りの銀行・信用金庫等の金融機関から本学指定口座に納入してください。（日本国内からの送金のみとします）

[指定口座]

北越銀行 江陽支店 普通 2029113 （名義：公立大学法人長岡造形大学）

- 振込人名義の前に振込コード“2200”を入れてください。
- 振込人名義は志願者本人名に限ります。
（志願者本人以外の名義とした場合、納入を確認できないことがあります）
- 入学検定料を納入後、「振込の明細書（振り込んだことがわかる書類等）」の写し（コピー）を出願書類に同封してください。

⑧ 362 円分の切手（受験票返送用。速達で返送）

- 志願する者が外国人の場合は、以下の書類を併せて提出してください。

⑨ 住民票またはパスポートの写し（在留資格および在留期間が明記されているもの）

⑩ 日本留学試験の受験票の写し

入学後の授業は日本語で行われますので、授業を受けるのに支障のない日本語能力が必要です。

志願票等作成上の注意

1. 志望研究領域の欄は、希望する研究領域を選択してください。
2. 志望教員との面談時期の欄は、最終の面談をした時期を記入してください。
3. 現住所の欄は、確実に連絡できる場所を記入してください。
4. 写真貼付の欄には、出願以前 3 ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽の写真（タテ 4cm × ヨコ 3cm）を必ず貼付してください。また、写真の裏面には、氏名を記入してください。

選考方法・試験科目等

選考方法		面接試験および論文、研究計画書並びに成績証明書を総合して合否を判定します。			
試験科目		面 接			
試験日	前期	平成 28 年 11 月 12 日（土）	試験時間	面 接	13:30 ～
	後期	平成 29 年 2 月 18 日（土）			
集合時刻		13:00			

受験についての諸注意

- ① 面接室及び面接試験の順番は当日指示します。
- ② 試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を紛失したり、試験当日忘れた場合は、必ず係員に申し出てください。
- ③ 受験票が試験日の 3 日前までに届かない場合は、本学入試課に問い合わせてください。
- ④ 集合時刻から 20 分以上遅刻した場合、受験を認めません。ただし、試験当日、交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により集合時刻に到着できない場合は、直ちに本学入試課に電話連絡を行い、指示を受けてください。
- ⑤ 身体等に障がいのある志願者で、受験および修学上特別の配慮を必要とする者は、出願前に十分時間に余裕を持って本学入試課に申し出てください。
- ⑥ 入学試験に関する問い合わせ先は P.17 を参照してください。

大学院造形研究科 入学試験共通事項

合格発表

下記の合格発表日時に、本学学生エントランスに掲示するとともに、合否結果を志願者全員に郵便（速達）で通知します。

合否に関する電話等による問い合わせは、一切受け付けません。

合格発表日時：前期入学試験 平成 28 年 11 月 18 日（金）13:00（予定）

後期入学試験 平成 29 年 3 月 3 日（金）13:00（予定）

入学手続

合格者には、合格通知とともに入学手続関係書類を送付します。下記の入学手続期間内に、入学手続時納付金を納入し、入学手続きに必要な書類を必ず書留速達で郵送（入学手続期間内必着）により手続きを行ってください。

（入学手続時納付金については、下記「初年度納付金」を参照）一旦納付された入学料は返還しません。

入学手続期間：前期入学試験 平成 28 年 11 月 21 日（月）～ 11 月 25 日（金）

後期入学試験 平成 29 年 3 月 6 日（月）～ 3 月 10 日（金）

初年度納付金

【長岡造形大学造形学部出身の修士課程入学者および長岡造形大学大学院修士課程出身の博士（後期）課程入学者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		—	—	
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
代理徴収	保護者会費	10,000 円	—	修士課程入学者のみ
	校友会費	—	—	
合 計		277,900 円	267,900 円	

【上記以外の者】

内 訳		入学手続時納付金	後 期 分	備 考
入 学 料		282,000 円	—	入学時のみ 長岡市内在住者は 141,000 円
授 業 料		267,900 円	267,900 円	
代理徴収	保護者会費	10,000 円	—	修士課程入学者のみ
	校友会費	20,000 円	—	
合 計		579,900 円	267,900 円	

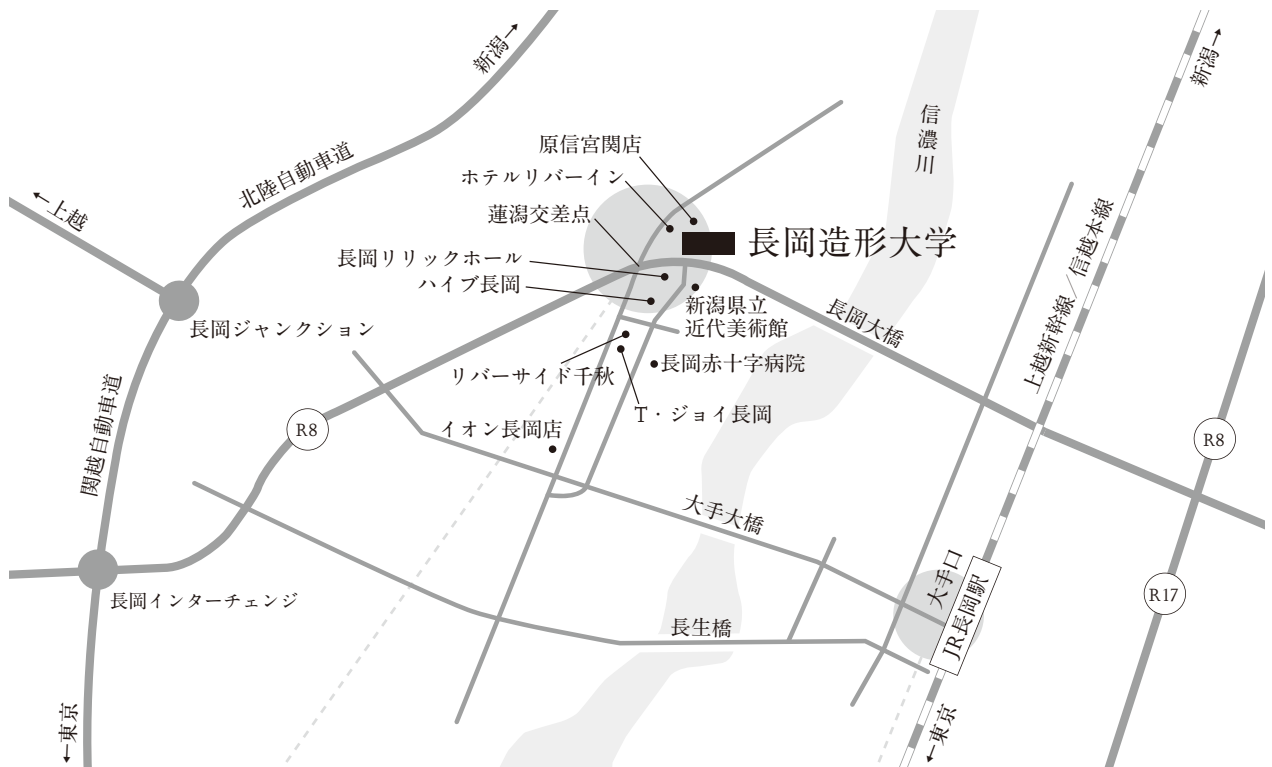
※本学造形学部出身者は修士課程の入学料を免除します。本学大学院修士課程出身者は博士（後期）課程の入学料を免除します。

※上記に該当しない長岡市内在住者（平成 29 年 4 月 1 日現在において、本人又はその配偶者若しくは 1 親等の親族が引き続き 1 年以上長岡市内に住所を有している人）については、入学料の半額を免除します。

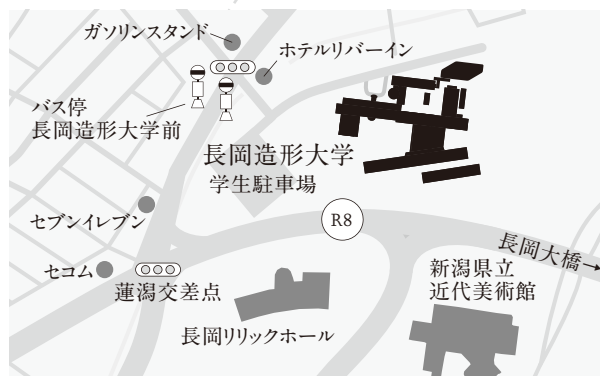
試験会場案内

長岡造形大学

アクセス 越後交通路線バス：JR 長岡駅大手口 2 番バス乗り場から、江陽環状線または江陽団地行きに乗車、
約 15 分、「長岡造形大学前」下車、徒歩約 1 分。料金 260 円（片道）。



●大学付近案内



●長岡駅大手口バス乗り場



※所要時間はあくまで目安です

入学試験に関する問い合わせ
長岡造形大学 入試課

[受付時間] 月～金 8:30～17:00（土・日・祝を除く）

[大学休業期間] 平成28年8月13日（土）～平成28年8月21日（日）
平成28年12月28日（水）～平成29年1月3日（火）

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331 Fax. 0258-21-3343

E-mail nyushi@nagaoka-id.ac.jp



公立大学法人

長岡造形大学

Nagaoka Institute of Design

修士課程

試 験 区 分	1. 前期		2. 後期	
志 望 研 究 領 域	1. 環境文化財学 4. 視覚デザイン		2. 建築学 5. 美術・工芸 3. 空間計画学 6. プロダクトデザイン	
フリガナ				
氏 名			性 別	a. 男 b. 女
出 身 学 校 な ど	大学	学部	学科	生年月日
				年 月 日 卒業・卒業見込 修了・修了見込
志望教員名				
志望教員との面談時期	年 月			
現 住 所	〒		電話	
				※

..... 切 り 離 さ な い こ と

平成 29 年度 長岡造形大学大学院造形研究科

修士課程 受 験 票

受 験 番 号	※
試 験 区 分	1. 前期 2. 後期
志 望 研 究 領 域	1. 環境文化財学 2. 建築学 3. 空間計画学 4. 視覚デザイン 5. 美術・工芸 6. プロダクトデザイン
氏 名	

●試験日

前期入試	平成28年11月12日（土）
後期入試	平成29年2月18日（土）

●試験時間（前期入試・後期入試とも）

専門分野の小論文試験	12:00～14:30
面 接	15:00～

- 試験室は11時00分から入場できます。
- 試験室には試験開始の15分前までに入室してください。

- 受験上の注意事項
1. 試験開始後20分以上の遅刻は受験を認めません。
2. 受験票は必ず持参してください。
3. 試験監督者の指示に従ってください。

平成 29 年度 長岡造形大学大学院造形研究科

修士課程 写 真 票

受 験 番 号	※
試 験 区 分	1. 前期 2. 後期
志 望 研 究 領 域	1. 環境文化財学 2. 建築学 3. 空間計画学 4. 視覚デザイン 5. 美術・工芸 6. プロダクトデザイン
氏 名	

写 真 貼 付

1. 正面、上半身、脱帽

2. タテ4cm x ヨコ3cm

3. 最近3カ月以内に撮影

4. 裏面に氏名を記入

試験区分	1. 前期		2. 後期	
研究領域	造形理論			
フリガナ				
氏名			性別	a. 男 b. 女
出身学校など	大学	学部	学科	生年月日 年 月 日
	大学院		研究科専攻	年 月 卒業・卒業見込 修了・修了見込
志望教員名				
志望教員との面談時期	年 月			
現住所	〒		電話	
				※

平成29年度 長岡造形大学大学院造形研究科
博士(後期)課程 受験票

平成29年度 長岡造形大学大学院造形研究科
博士(後期)課程 写真票

受験番号	※
試験区分	1. 前期 2. 後期
研究領域	造形理論
氏名	

●試験日

前期入試	平成28年11月12日（土）
後期入試	平成29年2月18日（土）

●試験時間（前期入試・後期入試とも）

面接	13:30～
----	--------

- 試験室は12時30分から入場できます。
- 試験室には試験開始の15分前までに入室してください。

- 受験上の注意事項
1. 集合時刻から20分以上の遅刻は受験を認めません。
2. 受験票は必ず持参してください。
3. 試験監督者の指示に従ってください。

受験番号	※
試験区分	1. 前期 2. 後期
研究領域	造形理論
氏名	

写真貼付

1. 正面、上半身、脱帽

2. タテ4cm×ヨコ3cm

3. 最近3カ月以内に撮影

4. 裏面に氏名を記入

切り離さないこと

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないこと

履 歴 書

年 月 日現在

ふりがな			
氏 名		男・女	生年月日 年 月 日生
ふりがな			
現住所	〒 TEL () -		
ふりがな			
連絡先	〒 TEL () -		

(連絡先欄は、帰省先等緊急時に確実に連絡が取れる場所を記入すること)

学 歴 ・ 職 歴	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	

(学歴は高等学校から記入すること。大学及び大学院の卒業・修了欄には取得学位名を記載すること。職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

資格・賞罰等	取得年月日	資格・賞罰等の名称
趣味・特技		
志望理由等		

受 験 番 号
※

※欄は記入しないこと

研 究 計 画 書

ふ り が な 受 験 者 氏 名 (生年月日)	 (年 月 日生)
志 望 指 導 教 員 名	
志 望 研 究 課 題	

枠内は、自筆で記入してください。

志望研究課題を選んだ理由、その課題をどのように追究していきたいと考えるかについて、和文800字以上1,200字以内でまとめ（サイズはA4。様式、枚数は自由）、この用紙を表紙として綴じてください。

「志望指導教員名」は学生募集要項の教員名一覧を参考にしてください。

受験番号
※

※欄は記入しないこと

研究内容相談受付書

ふりがな 受験者氏名 (生年月日)	 (年 月 日生)
志望研究課題	

上記の者から平成29年度長岡造形大学大学院修士課程の入学試験に出願するにあたり、
事前に研究内容等の相談を受けました。

年 月 日

所属

氏名



受 験 番 号
※

※欄は記入しないこと

研究内容相談受付書

ふ り が な 受 験 者 氏 名 (生年月日)	(年 月 日生)
志 望 研 究 課 題	

上記の者から平成29年度長岡造形大学大学院博士（後期）課程の入学試験に出願するにあたり、事前に研究内容等の相談を受けました。

年 月 日

所 属

氏 名



受 験 番 号		※
受 験 者 氏 名		
1	論文・作品名	
	内 容 (制作年月・大きさなど)	年 月 制 作 大きさ 縦()×横()×高さ()
	提 出 形 式 (○で囲んでください)	論文 ・ 作品集 ・ 図面 ・ その他 ()
2	論文・作品名	
	内 容 (制作年月・大きさなど)	年 月 制 作 大きさ 縦()×横()×高さ()
	提 出 形 式 (○で囲んでください)	論文 ・ 作品集 ・ 図面 ・ その他 ()
3	論文・作品名	
	内 容 (制作年月・大きさなど)	年 月 制 作 大きさ 縦()×横()×高さ()
	提 出 形 式 (○で囲んでください)	論文 ・ 作品集 ・ 図面 ・ その他 ()
4	論文・作品名	
	内 容 (制作年月・大きさなど)	年 月 制 作 大きさ 縦()×横()×高さ()
	提 出 形 式 (○で囲んでください)	論文 ・ 作品集 ・ 図面 ・ その他 ()
5	論文・作品名	
	内 容 (制作年月・大きさなど)	年 月 制 作 大きさ 縦()×横()×高さ()
	提 出 形 式 (○で囲んでください)	論文 ・ 作品集 ・ 図面 ・ その他 ()

※欄は記入しないこと

論文要旨・作品添付用紙

長岡造形大学大学院造形研究科修士課程

受 験 番 号	※
受 験 者 氏 名	
論 文 ・ 作 品 名	
制 作 年 月	年 月

※欄は記入しないこと
論文又は作品毎に貼り付けること。

----- 切 り 取 り 線 -----

論文要旨・作品添付用紙

長岡造形大学大学院造形研究科修士課程

受 験 番 号	※
受 験 者 氏 名	
論 文 ・ 作 品 名	
制 作 年 月	年 月

※欄は記入しないこと
論文又は作品毎に貼り付けること。

----- 切 り 取 り 線 -----

論文要旨・作品添付用紙

長岡造形大学大学院造形研究科修士課程

受 験 番 号	※
受 験 者 氏 名	
論 文 ・ 作 品 名	
制 作 年 月	年 月

※欄は記入しないこと
論文又は作品毎に貼り付けること。

----- 切 り 取 り 線 -----

論文要旨・作品添付用紙

長岡造形大学大学院造形研究科修士課程

受 験 番 号	※
受 験 者 氏 名	
論 文 ・ 作 品 名	
制 作 年 月	年 月

※欄は記入しないこと
論文又は作品毎に貼り付けること。

----- 切 り 取 り 線 -----

論文要旨・作品添付用紙

長岡造形大学大学院造形研究科修士課程

受 験 番 号	※
受 験 者 氏 名	
論 文 ・ 作 品 名	
制 作 年 月	年 月

※欄は記入しないこと
論文又は作品毎に貼り付けること。

速 達

書留速達分
の切手を貼
付のこと。

9 4 0 - 2 0 8 8

新潟県長岡市千秋4丁目197番地

長岡造形大学 入試課 行

修士課程用

書留速達〈出願書類在中〉

折り曲げ厳禁

住 所	〒
氏 名	

出願時提出書類

この封筒の中に下記の書類が入っているか、確認のうえ封をしてください。

- ☐ 志願票・受験票・写真票〔写真貼付〕 ☐ 履歴書 ☐ 出願資格を証明する書類及び成績証明書
☐ 研究計画書 ☐ 入学検定料「振込の明細書」の写し(コピー) ☐ 362円分の切手

速 達

書留速達分
の切手を貼
付のこと。

9 4 0 - 2 0 8 8

新潟県長岡市千秋4丁目197番地

長岡造形大学 入試課 行

博士(後期)課程用

書留速達〈出願書類在中〉

折り曲げ厳禁

住 所	〒
氏 名	

出願時提出書類

この封筒の中に下記の書類が入っているか、確認のうえ封をしてください。

- ☐ 志願票・受験票・写真票〔写真貼付〕 ☐ 履歴書 ☐ 出願資格を証明する書類及び成績証明書
☐ 研究計画書 ☐ 論文 ☐ 入学検定料「振込の明細書」の写し(コピー) ☐ 362円分の切手